





約束やきまりを守ろう!

ここで学ぶこと
● 契約について
● 約束やきまりの大切さ

Q セールで買ったバッグ。家に帰って見たらあまり気に入らない。あなたならどうしますか?

| | |
|---|--|
| <p>ワオさん</p>  <p>安かったから捨てちゃおうかな。</p> | <p>カコさん</p>  <p>そうだ! だれかにあげればいいよ!</p> |
| <p>ヤスさん</p>  <p>気に入らないなら返品すればいいんじゃない?</p> | <p>マキさん</p>  <p>交換できるか、お店の人に聞いてみようかな。</p> |

考えてみよう!

① 4人の行動について考えてみましょう。

| | 特徴 | 良い点 | 悪い点 (不安なこと) |
|------|--------|-----|-------------|
| ワオさん | 安い/捨てる | | |
| カコさん | あげる | | |
| ヤスさん | 返品 | | |
| マキさん | 交換/聞く | | |

② あなたは、買ってから後悔したことはありますか? そのとき、どうしましたか?

③ 返品や交換ができるのは、どのような場合だと思いますか?

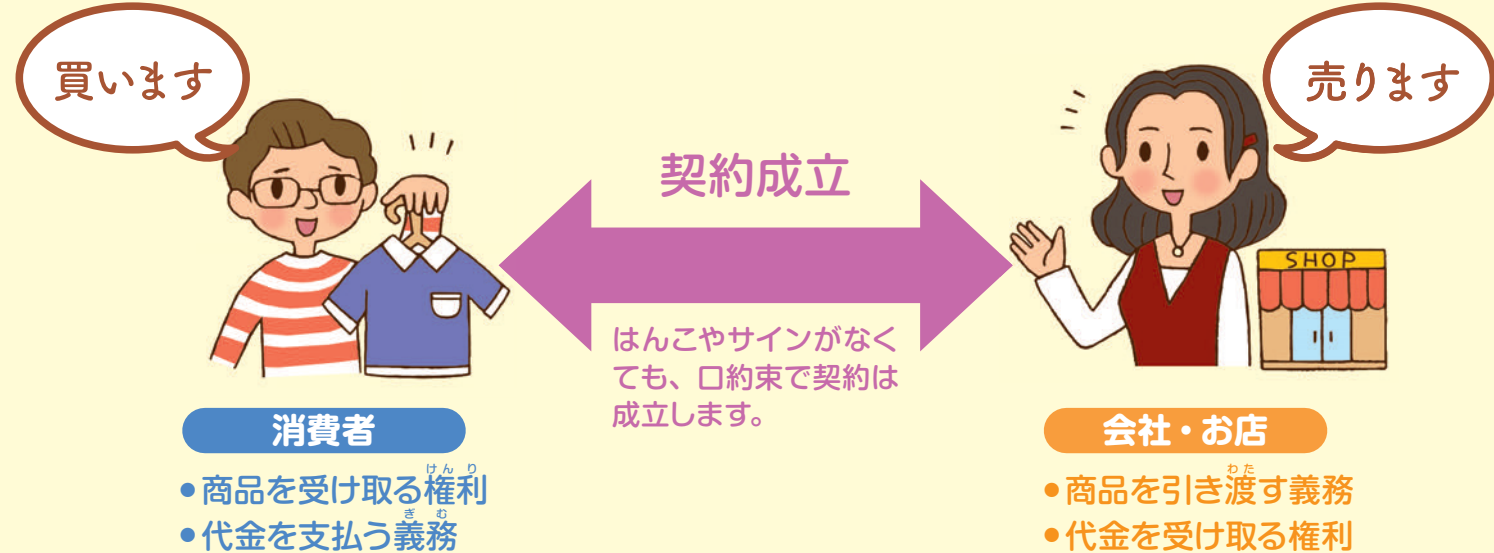
④ 商品を買ってから後悔しないために、自分はどうすればいいと思いますか?

もっと知ろう!

● 「契約」って何だろう?

契約とは、法律で守らなければいけないと決められた約束のことです。お店の「売りたい」という意思と、私たちの「買いたい」という意思が合意したときに、契約は成立します。

私たちが何かを買うときには、「商品やサービスを受け取る代わりに、お金を支払う」という契約をしています。おやつを買ったり、電車やバスに乗ったり、携帯電話を利用するのも、すべて「契約」です。お店との間で決めた約束は、お互いに守らなければなりません。



● 契約は勝手にはやめられない

いったん契約が成立したら、売る側も買う側も約束を守る責任があります。どちらか一方の都合で取り消すことはできません。

商品を買ったあとで「やっぱりいらない」と思っても、もしお店の人が「返品を受け付けません」と言えば、返品することはできません。返品を受け付けているお店は、それを許してくれているからなのです。

どんなに小さな買い物でも、買い物はすべて「契約」です。自分だけの都合で簡単に返品することはできないということを覚えておきましょう。



● よく考えて、契約しよう

よく考えずに契約(買い物)すると、あとで困ることになります。買い物をするときは、「新商品」や「限定」などの言葉につられることなく、本当に必要なものなのかをよく考えてから買うようにしましょう。



保護者の方へ。子供と一緒に考えましょう!



生活の中でどんな契約をしているかな?

- 消費生活のほぼすべてに契約はかかっています。毎日の生活の中で、誰とどんな契約をしているのか親子で話し合ってみましょう。
- 買い物(契約)をする前に、「本当に必要なものか」「今、買わなければいけないものか」を考える習慣を子供に身につけさせましょう。
- ただし、お店の人がうそをついて契約を結んだ場合などには、契約を取り消すこともできます。困ったことがあったときには、すぐに大人に相談するように伝えておきましょう。



電気や水道が使えるのも、会社と契約しているからだよ。